

知ってる？守ってる？ 自転車のルールとマナー

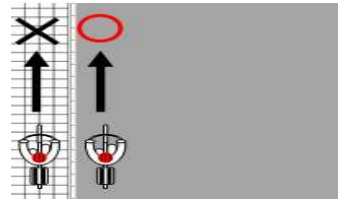
家族で話そう！

平成30年4月より埼玉県では自転車保険への加入が義務化されております。自転車利用中の事故を防ぐためにも歩行者や車の運転者も自転車のルールを知り、ご家族でルールとマナーを再確認いたしましょう。

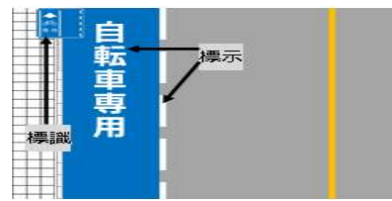
《自転車安全利用五則》

自転車安全利用五則は自転車に乗るときに守るべきルールのうち特に重要なものです。

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外



【罰則】3ヵ月以下の懲役 または 5万円以下の罰金



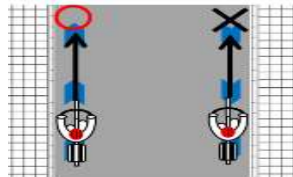
●例外

- ・道路標識などで普通自転車が歩道を通行できるとされている時
- ・児童・幼児・70歳以上の者等



- ・車道や交通の状況から通行の安全を確保する為に歩道を通行する事がやむを得ない時

2. 車道は左側を通行

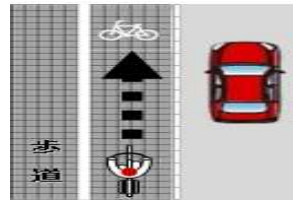


【罰則】3ヵ月以下の懲役 または 5万円以下の罰金

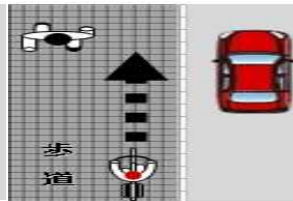


- ・車道の左側端が原則です。

3. 歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行



【罰則】2万円以下の罰金 または 科料



- ・道路標示で普通自転車が通行する部分が指定されている場合はその部分を徐行して進行します。
- ・普通自転車通行部分の指定が無い場合は歩道の中央から車道寄りの部分を徐行して進行します。
- ・歩行者の進行を妨げることとなる場合は一時停止しなければなりません。

4. 安全ルールを守る

	罰則
飲酒運転の禁止	5年以下の懲役 または 100万円以下の罰金（酒酔い運転の場合）
二人乗りの禁止	5万円以下の罰金
並走の禁止	2万円以下の罰金 または 科料
夜間はライトを点灯	5万円以下の罰金
信号遵守	3ヵ月以下の懲役 または5万円以下の罰金
交差点での一時停止・安全確認	3ヵ月以下の懲役 または5万円以下の罰金

5. 子どもはヘルメットを着用



平成20年6月1日の道路交通法改正により幼児および児童（13歳未満）に対するヘルメットの着用努力義務が施行されました。努力義務の違反による罰金はありませんが、大切なお子様の命を守るという意味でもヘルメットの着用は必要です。安全基準に適合し、賠償措置のある「SGマーク」がついたものがお勧めです。

また、今日まで大切に育ててくれた家族、愛情をもってご指導いただいた先生方、いつも私たちの成長を温かく見守ってくださる地域の皆様に改めて深い感謝の気持ちを感じております。

同じ学び舎で月日を共にしてきた私たちが、すでに社会人として働いている者や進学をして学業に勤しんでいる者など、様々な立場の者がおります。立場

本日は、私たちのためにこのような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。新成人を代表し心より感謝を申し上げます。また、鶴ヶ島市長様をはじめ、ご来賓の皆様から温かいお祝いと励ましの言葉をいただき、心より御礼申し上げます。



平成30年度
新成人 誓いの言葉

今、世の中は私たちが産まれた二十年前にはなかった情報ネットワークやAIなどの技術が進歩しています。また、少子高齢化、労働者不足などの社会問題も山積みとなっています。私たちが新たな成人として社会の一員となるには、一人ひとりが考え、自分の足で着実に歩を進めていかなければいけません。しかし、平坦

民俗学者の柳田國男さんは祭礼、儀礼などの非日常を「ハレ」、普段の生活を「ケ」と表しました。入学式や卒業式、成人式などの「ハレ」は、日常の「ケ」の上になり立っているという事です。しかし、今日では非日常の「ハレ」を日々の中に求めることが多くなっているのではないかと危惧しています。SNSで「ハレ」を提示し、常に新たな情報を享受し合っています。時折、自分の日常を見失ってしまう危うさを感じる事があります。日々の「ケ」を大切に積み重ねていくことは、つまり己の人生に誠実に向き合っていくということではないでしょうか。

はそれぞれ違いますが、成人を迎えた私たちはこれから大人として責任ある行動をとらなければなりません。

荒木 風哉さん 野尻 陽介さん
軽部 恋さん 本松 恵里奈さん



成人式実行委員会

平成三十二年一月十三日
新成人代表 野尻 陽介

な道ばかりではないかもしれませんが、そんなときは、ここ鶴ヶ島で共に過ごした日々を糧にし、新たな一歩を踏み出す力にしていきましょう。

結びに、これからの日本、地域と社会発展の為に奮励し、責任ある行動をとることを約束し、誓いの言葉とさせていただきます。

人は、なるうと思うような人になっていくといわれています。そのためには、人生にめあてを持つことです。自分を活かした、自分のための人生計画、なくてはならないものです。

人生、順風満帆ばかりではありません。逆境に耐えられる信念と生きる力、このことも常時心得ておくことが大事です。

時代は激しく進展しています。時代に遅れず、流されず、先見性を持って自分の人生を拓いて生きてほしいと願っています。

さて、これまで歩んできた二〇年を振り返って、どんな感想ですか。ここまですが社会人として自立するためのウォーミングアップ。しっかりと、今までの歩みを心に留めて、これからの自分の人生を切り上げていってください。

成人、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

会長

高橋 裕一

祝辞

